



- 教育目標
- 自分で考え進んで実践する人間
 - 公共心に富み情操豊かな人間
 - 勤労を尊び責任を重んじる人間
 - 健康でたくましい人間

『温かい拍手をおくる』

校長 関 勝 志

10月27日(火)、「ルネこだいら」において、合唱コンクールを開催しました。スローガン「天歌夢奏」のとおり、夢を奏でるような美しい歌声が天まで届かんとばかりに会場に響きわたりました。練習から本番までを通して、仲間と心をついにし、ひたむきに歌う姿や笑顔を見ていて、つくづく「青春っていいな～」と思いました。また、そんな四中生を誇りに思います。どのクラスもこの世界にたった一つしかない「オンリーワンの合唱」を披露しました。全てのクラスの合唱と吹奏楽部の演奏に、大きな拍手が沸き起こりました。とりわけ、3年生の学年合唱「大地讃頌」はすごかったです。



また10月は、小学校の運動会も開催されました。四小も、十小も、十五小も、子どもたちの力いっぱい競技や表現、応援に、温かい拍手がおくられていました。子どもたちの笑顔と元気いっぱいの姿に、保護者や地域の方々、先生など、大人がたくさんエネルギーをもらったような気がしました。

小平四中の合唱コンクールにも、小学校の運動会にも共通して感じたのは、たくさんの拍手があったことです。「拍手」について少し考えてみたいと思います。

拍手(はくしゅ)とは、手を叩く行為のことですが、手を叩く行為は他にも、柏手(かしわで)や手拍子(てびょうし)、手締め(てじめ)などもあります。

拍手(かしわで)は、神社に参拝したときの作法「二拝二拍手一拝」などのように、神様を敬う気持ちを表しています。神様を呼び出すため、邪気をはらうためという説もあります。

手拍子(てびょうし)は、音楽に合わせて手を打ち鳴らし拍子をとることで、場の雰囲気盛り上げる効果があります。

手締め(てじめ)は、日本の風習の一つで、物事が無事に終わったことを祝い、掛け声とともにリズムを合わせて手を打つ儀式です。お祭りや冠婚葬祭などの式典、商談や株主総会などの終わりにも行われます。「一丁締め」や「一本締め」「三本締め」「十締め」などがあります。

それでは、拍手(はくしゅ)の意味や目的は何でしょうか。拍手(はくしゅ)は、相手への敬意を込めて手を叩くことです。賞賛(すばらしい)、歓迎(ようこそ)、喚起(頑張れ)、感激(ジーンときた)、感謝(ありがとう)といった感情を伝えたり、賛同(いいと思う)の意思を示したりします。感動した観客が総立ちで盛大な拍手喝采をおくることをスタンディング・オベーションといい、最大級の賞賛を意味しています。しかし、拍手も使い方によっては、人を傷つけたり、失礼な態度となったり、場の雰囲気を乱したりすることもあります。相手への敬意を込めた温かい拍手をおくるのが大切です。

ちなみに、NHK番組「チコちゃんに叱られる」で『人はなぜ拍手をする?』という問題が出されましたが、チコちゃんの答えは『体に触りたいけど手が届かないから』ということでした。人も含めた多くの動物は、友好的な気持ちを相手に触れる行動(握手やハグなど)で表現するそうです。相手が手の届く距離にいれば触れることができますが、コンサートやスポーツ観戦の会場などでは称賛の感情が高まってもその対象は文字通り手の届かない存在です。そこで代わりに拍手で音を出すことによって友好的な気持ちを伝えているという解説でした。

拍手は世界共通の非言語による心情表現やコミュニケーション、ボディランゲージの一つであり、小平四中の良い文化の一つだと思っています。行事で、授業で、学級で、様々な場面で、頑張っている仲間に対して、誰からともなく自然に拍手がおくられます。また、先生の話に対しても拍手をしてくれます。純粹で思いやりのある生徒たちです。「拍手」には、その瞬間、人の心と心をつなぐ不思議な力があると思います。大切にしたいですね。

■合唱コンクールを終えて■

【天歌夢奏の合唱コンクール】 合唱コンクール実行委員長 3年A組 本田 梢恵

合唱コンクールが開催されてから一週間以上がたちました。振り返ってみて、みなさんはどんな合唱コンクールでしたか。私は3年間で一番楽しい合唱コンクールでした。舞台上上がったときには、各クラスそれぞれのあふれ出る個性の歌声を全身全霊で奏で、客席では、その迫力に圧倒されながら、真剣に耳を傾けている姿にとっても感動しました。

3年間実行委員を続けてきた私にとっては、今年の合唱コンクールは強い思いがありました。そんな思い以上に素晴らしい合唱ができ、色々なクラスの合唱を聴けてとても嬉しかったです。

私たち3年生にとっては受験前の最後の行事でした。「この3年間の成長を見せなければ」という思いで舞台に立ちました。そんな思いが少しでも伝わっていたら嬉しいです。今のクラスで過ごせる時間も残りあと4か月ほどとなりました。残りの時間を合唱コンクールで団結したクラスで、有意義に楽しい時間を過ごせるといいと思います。

音楽科 石崎 麻衣

マスクなしので合唱、課題曲と自由曲の2曲発表、ステージでの学年合唱ありという本来の合唱コンクールの形で開催できたのは実に5年ぶりでした。ルネこだいら大ホールに響くみんなの歌声を聴きながら、みんなで歌えることは当たり前ではなく、本当に素晴らしいことなのだと再確認できた合唱コンクールでした。

外部審査員の小平南高校の白井先生には「どのクラスもレベルが高く、点数をつけることが難しい、我々高校も頑張らなければ…」と嬉しい一言をいただきました。クラス練習が始まってからの9日間で、クラスで試行錯誤しながら練習した成果が、『合唱』としてだけでなく、クラスの『団結』として現れていて心を打たれました。

最後になりましたが、保護者の皆様には当日まで様々な形でのご協力、応援していただきありがとうございました。

音楽科 村本 優佳

合唱コンクールお疲れ様でした。どのクラスも工夫を凝らして練習に取り組んでおり、本番はそれぞれクラスカラーが出た素晴らしい合唱になっていました。1年生の学年合唱「行き先」は、とても明るく元気な歌声でスタートを飾るにふさわしい合唱であり、初めての合唱コンクールにも関わらず、各クラスが堂々と歌う姿が印象的でした。2年生の学年合唱「旅立ちの時～Asian Dream Song～」は声量も上がり、迫力のある歌声を響かせ、どのクラスも表現やハーモニーを意識し、一体感のある合唱を行っていました。そして3年生の学年合唱「大地讃頌」は圧巻の演奏でした。3年前、当時1年生だった時と比べ、歌声も心も体も本当に成長したなと感極まりました。

本番が終わり「先輩方のように感動を届けられる合唱にしたい」「練習に真剣に取り組む笑顔で終わるようにしたい」と振り返りを行っている人がたくさんいました。来年はさらにレベルアップした合唱を聞くことを楽しみにしています。



■生徒の活躍■

陸上競技部 第76回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

男子3年走幅跳 2位 奥澤 雄音

女子1年100m 2位 藤井 日菜乃 / 女子2年100mH 3位 力石 依里香

女子共通4×100m 7位 力石 依里香・藤井 日菜乃

剣道部 第10ブロック中学校秋季剣道大会 2年男子の部 3位 白石 大輝

※東京都中学校秋季剣道大会（新人戦）男子団体の出場権獲得

国語科 「お〜いお茶新俳句大賞」 <佳作特別賞> 2D 鈴木 佐緒理

<佳作> 2A 古川 煌土、2C 雅樂 ゆい花、2C 石坂 優太、2E 森 大翔



■12月の主な行事予定■

1日	全校面談（始）	17日	スピーキングテスト（予備日）
4日	全校朝礼	18日	生徒会朝礼 安全指導 中央委員会
8日	全校面談（終）	22日	大掃除
11日	保護者会・移動教室説明会（1）	25日	終業式
12日	保護者会（2）	26日	冬季休業日（始）
15日	専門委員会 避難訓練	29日～1月3日	年末年始の休日 4日 学校閉庁日